

# 読書

木曾三川分流工事を計て美濃地域の最初の実測画するためオランダ人技師デレーケが参考にしたと言われている一枚の絵図がある。横五・四、縦四・一、の大きな和紙に手書きで描かれ、彩色が施されている。「美濃

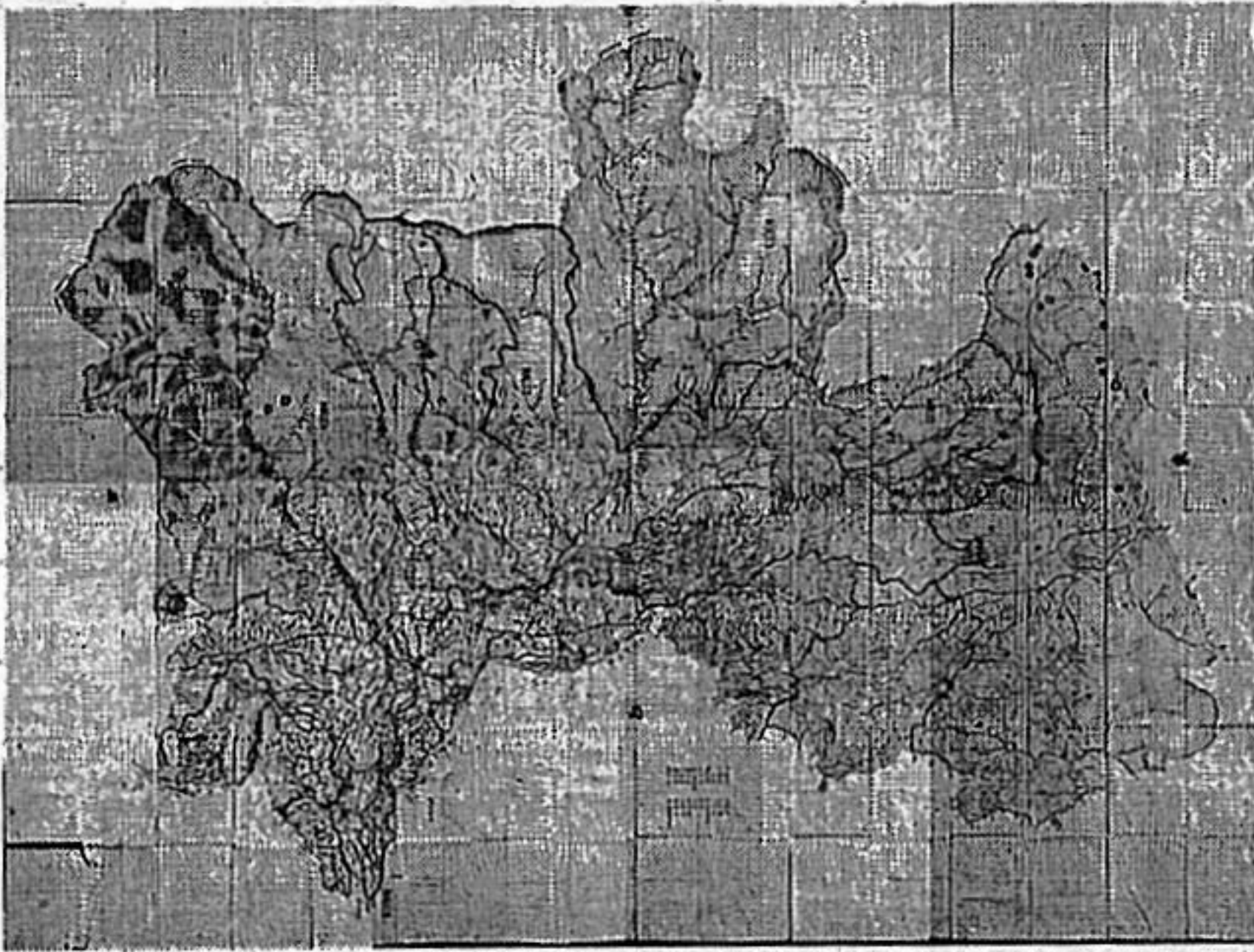
## 県図書館に行こう

こんな情報<sup>①</sup>が待っている

国実測図」と題されているが、江戸期のもではない。明治の地方行政制度である大区小区制や記入されている村名から一八七五(明治八)年から七九年の間に作成されたと考えられる。推定される年代から見

## 明治初期の美濃を知る

美濃国実測図



明治初期の美濃地域の様子をうかがい知れる「美濃国実測図」

った。「美濃国実測図」は、岐阜県で土木技師をしていた人の家に伝えられていたが、一九六八(昭和百二十年余りが経過し、

四十三)年に県図書館の前身である県立図書館に譲り渡された。作成されてからおよそ読み取ることができ

県図書館では、建設省木曾川下流工事事務所が一九八三(昭和五十八)年三月に作成した横二・六、縦二・〇五の複製図も所蔵している。

また、県図書館世界分布図センターのウェブページで電子化した同図のイメージを見ることができ。アドレスはhttp://www.library.pref.gifu.jp/map/kochi-zu/data/index-ken.html  
明治初期の美濃地域の様子をうかがうことができる貴重な一枚である。